

第1回深川市庁舎整備検討会議の内容等について（意見要旨）

【会議ルール等について】

- ・公開される会議録は、市の説明内容も含め市民が理解できるよう調製いただきたい。

【整備手法について】

- ・基本計画案策定は専門的な知識を要するため、専門業者に委託する事が必要。
- ・建替えが進む他市の事例を参考に提示を。
- ・車両センターは早朝の稼働で近隣から苦情もあるため、解消するよう整備をお願いしたい。
- ・整備手法の結論を早く出さないと次の議論が進まない。財政状況など根拠をもって市は考え方を自ら示す必要があり、示された内容について議論していく方が時間を最も有効に使える。
- ・耐震改修では、「借金」と「建替えが将来必要になる建物」を未来に引き渡すことになる。また、仮設庁舎での業務や執務スペースの制限等で市民サービスが低下する。さらには課題解決に制約が生じる。以上のことから財政的な見通しがあるのであれば建替えを選択しない理由はない。
- ・建替えに比べ大幅なコストダウンが見込めない限り、耐震改修は現実的ではない。
- ・現庁舎にアスベストがあるならば解体の際はしっかり対策をいただきたい。
- ・耐震改修は耐久年数が短く、20年後に同様の検討を行うのであれば建替えの方が良い。
- ・子供たちに負の遺産を残さず、市民サービスの低下も招かないことから建替えの方が良い。
- ・スケジュールが非常にタイトのため、市の考えはこうだと明確に示していただきたい。
- ・諸課題の資料を見ても誰が耐震改修を選択するのか。市は建替えの方向で考えている気がする。

【建替る場合の場所等について】

- ・建替えた場合に人口減や高齢化等を踏まえてどこに建てるのか。現庁舎と同じ場所か、またコンパクトシティ化に向けて中心部に建てるのか、そのことを検討する事が大事。
- ・建設場所とともに、庁舎の面積なども一緒に示さなければ判断できない。
- ・庁舎面積について国の基準はどのようになっているか。人口減少を踏まえた検討も必要。
- ・10年後は人口や職員数の減少が進み庁舎の規模はもっと縮小しても良い。また、高齢化も進むので、行きやすい中心部が良い。現在地は正直言って遠い。

【市民アンケートについて】

- ・耐震診断の概算比較表の費用差等を見て皆さんは建替えと判断をしたが、アンケートでは費用的なものが一切示されずそういった判断ができない。問13は設問としてミスリードだと思う。
- ・スケジュール的に建設場所の選定に自由度はない。用地交渉の時間は無く、現庁舎の敷地内で建替えることが一番妥当。庁舎は広大な面積が必要になるがそういう場所は無いと思う。そうした状況で場所はどこが良いかと質問すること自体、本当に良いのかと考える。
- ・諸課題の資料6ページにあるような比較対照できる資料を添付すべき。
- ・問13は一つの設問の中に複数の要素が入り込み、市民の考え方の方向性を掴むのは難しい。「建替えか改修か」を先に聞き、その次に「場所」を聞くなど、設問を分けた方が良い。
- ・耐震改修に関する設問を除き、建替えの方向を打ち出した方がスッキリするのでは。
- ・期限が限られアンケートを取る時間的な余裕がない中、建替えか改修かと白紙の状態で聞くと尚更時間がかかる。市の考え方を絞って訴えていかなければ間に合わないのではないか。
- ・この後市民説明会なども予定されているので、本当にアンケートを取る必要があるのか。
- ・50年以上の建物を整備するので、市民の意見を聞き参考にすることは行政としては当然である。